



ほけんだより

令和4度12月号

明照保育園



寒さが本格的になってきましたね。空気が乾燥し、感染症やインフルエンザの流行も考えられます。今までと同じように手洗い・うがい・生活リズムを整えるようにしましょう。

【12月22日は冬至です】



冬至は、1年で一番昼が短い日。この日を境にだんだん日が長くなっていきます。冬至の日には、かぼちゃを食べ、ゆず湯に入る習慣がありますね。「冬至にかぼちゃを食べるとかぜをひかない」と聞いたことはありませんか。野菜の少ない冬、保存のきくかぼちゃを食べて栄養を補い、健やかに過ごそうという古来の知恵です。ゆず湯に入るのも、血行が促進され、体が温まるからです。こうしたすばらしい知恵を、子どもたちにも伝えていきましょう。



【こどもにとっての衣類】

2012年に、東京都内で4歳の子がパークのフードがドアノブに引っかかり、窒息状態となって入院する事故が起きました。海外では、こども服のひもが首にからんで窒息死する事故が問題となり、各国でこども服に関する公的な安全基準が設けられました。

2015年日本でも米国やEUなどに続いてこども服の安全規格が制定されました。JIS（日本工業規格）では、7歳未満のこども服の頭や首回りのひも、13歳未満のこども服の背

中や裾のひもなどをそれぞれ禁止しています。

園でも、フードやひもがついた服はこどもにとっては危ないと考えています。そのため、**フードやひもがついた衣類は園生活では控えて**下さい。また、あわせてこどもの自立を促すために「着脱のしやすさ」や遊び中心の園生活で過ごす「動きやすさ」など、「こどもにとって」を考えた衣類が選べるとよいですね。そしてお休みの日はおしゃれを楽しむのもよいですね♪



【冬の胃腸かぜに要注意！】

胃腸かぜとは感染性胃腸炎のことで、ウイルス・細菌感染により胃腸で様々な不調が起こる病気です。ノロウイルスやロタウイルスなどのウイルス感染によるケースが多く、冬から春の時期にかけて流行します。主に嘔吐、下痢、腹痛などの症状が現れます。感染力は強いので、家族間などで感染しないように注意をすることが必要です。

嘔吐した際にそれに触れると、それを介して感染が起こることがあるので、吐物処理する際は使い捨てゴム手袋等を活用し、手洗いをしっかりしましょう。

カウンセラーだより ~芸術の秋ですね~

こんにちは！最近朝晩の冷え込みが深くなってきましたね。せっかくの芸術の秋、みんなで絵を描いてみるのもいいですよ！子どもの絵を見ていると、面白い変化を見つけることができます。研究によると、子どもの絵の発達には以下のステップがあるようです。

- ①擦画期：クレヨンをつんと紙に打ち付けるように描く時期
 - ②錯画期：ぐるぐると丸を描いたり、たくさんの線が描かれる次期。いわゆる「なぐり描き」と呼ばれるもの。
 - ③象徴期：この時期になると子どもは何か形のようなものを描くようになります。しかし最初のうちは、考えて何かをかこうとするのではなく、描いたものを見て「アンパンマン」とか「ママ」などの意味付けを考えているようです。考えてから描くのではなく、描きながら考えるのです。この時期には、頭から手足が生えている「頭足人」と呼ばれる人物も描かれることがあります。
 - ④カタログ期：大小バラバラに、気になったものがつながりなく描かれる時期
 - ⑤図式期：だんだんと空間把握をしながらバランスを意識して描いていく時期
- 楽しそうに描かれている子どもの絵を見ながら、いろいろなこととお話してみるのも楽しいかもしれませんね(*^-^*) 保育カウンセラー中島たかひろ

【おわりに】

12月はクリスマスやもちつき、年末年始などうれしい行事がたくさんありますね。それぞれの行事にまつわる食や慣習についても、由来や作り方などを子どもたちに伝えながら楽しみたいと思います。どの行事も楽しく参加できるように、毎日の生活リズムを整えて過ごしましょう。